

京都市告示第 5 4 1 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する
条例に基づき，平成 30 年 4 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日までの期間にお
ける本市公営企業の業務状況を次のとおり公表します。

平成 31 年 1 月 18 日

京都市長 門 川 大 作

平成30年度前期京都市高速鉄道事業業務状況

1 事業概況

当期一日平均旅客数は397千人となり、前年度同期に比べ5千人（1.4%）の増加となりました。

当期旅客収入は13,894百万円となり、前年度同期に比べ126百万円（0.9%）の増加となりました。

また、お客様サービス向上と増客・増収のため、以下の事業を実施しました。

- 地下鉄・市バスのネットワークを活かしたモデルコースの発信など、「地下鉄・バス一日券」の販売促進の実施
- ゴールデンウィーク期間中における地下鉄の臨時増発と案内サービスの実施
- 祇園祭期間中における地下鉄の臨時増発と案内サービスの実施
- 「京都国際マンガ・アニメフェア2018」と連携し、地下鉄をアニメのキャラクターでデコレーションしたアニメ列車の運行
- 地下鉄のICOCA定期券（通勤・継続）を発行できる自動券売機の全駅設置

30年度4～9月 一日平均旅客数(地下鉄)

(単位:千人)

	29年度	30年度	対前年度増減率
4月	414	403	-2.7%
5月	402	410	2.0%
6月	397	409	2.9%
7月	391	398	1.9%
8月	363	378	4.2%
9月	385	387	0.5%
4～9月累計	392	397	1.4%

(参考) 運輸成績

〔 平成30年 4月1日から
平成30年9月30日まで 〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	44,286 (242)	43,804 (239)	482 (3)	1.1% (1.3%)
走行キロ数 (km)	10,605,804 (57,955)	10,448,441 (57,095)	157,363 (860)	1.5% (1.5%)
旅客数 (人)	72,729,596 (397,429)	71,707,877 (391,846)	1,021,719 (5,583)	1.4% (1.4%)
旅客収入 (千円)	13,893,975 (75,923)	13,768,062 (75,235)	125,913 (688)	0.9% (0.9%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

平成30年 4月 1日から
(平成30年 9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	14,540,186	高速鉄道事業収益	17,610,095
営業費用	11,772,897	営業収益	15,247,560
保 存 費	1,823,305	運 輸 収 益	13,866,579
運 転 費	1,085,422	そ の 他	1,380,981
運 輸 費	1,859,995	営 業 外 収 益	2,362,535
管 理 費	702,405	他 会 計 補 助 金	775,152
減 価 償 却 費	6,301,770	府 補 助 金	18,159
営 業 外 費 用	2,767,289	長 期 前 受 金 戻 入	1,567,397
支 払 利 息	2,764,586	雑 収 益	1,827
雑 支 出	2,703		
当期純利益	3,069,909		
合 計	17,610,095	合 計	17,610,095

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成30年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	446,214,720	固定負債	329,783,340
有形固定資産	445,330,926	企業債	283,416,295
無形固定資産	79,114	他会計借入金	27,700,350
建設仮勘定	749,080	府借入金	2,067,450
投資その他の資産	55,600	引当金	3,145,883
流動資産	2,175,603	リース債務	915
現金預金	415,297	その他固定負債	13,452,447
未収金	1,713,522	流動負債	61,641,954
貯蔵品	1,579	企業債	23,105,643
仮払金	45,205	他会計借入金	421,250
繰延勘定	89,019	府借入金	95,625
企業債発行差金	89,019	一時借入金	32,300,000
		未払金	1,879,050
		預り金	497,627
		前受金	970,914
		仮受金	460,972
		リース債務	1,978
		その他流動負債	1,908,895
		繰延収益	110,018,360
		長期前受金	110,018,360
		資本金	243,024,260
		資本金	243,024,260
		剰余金(欠損金)	△ 295,988,572
		資本剰余金	8,443,092
		欠損金	△ 304,431,664
合計	448,479,342	合計	448,479,342

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,220億4,054万円です。

2 長期前受金の収益化累計額は、1,099億462万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	142,988,468	0	7,598,220	135,390,248
出資債	32,000	0	0	32,000
特例債	16,401,000	1,058,000	558,000	16,901,000
資本費負担緩和 分企業債	72,511,145	0	1,028,535	71,482,610
資本費平準化債	82,905,560	3,000,000	3,189,480	82,716,080
鉄道・運輸 機構借入金	17,257,804	0	1,896,462	15,361,342
長期借入金	30,801,550	0	516,875	30,284,675
合 計	362,897,527	4,058,000	14,787,572	352,167,955

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は323億円です。

平成30年度前期京都市自動車運送事業業務状況

1 事業概況

当期一日平均旅客数は自然災害の影響等により365千人となり、前年度同期に比べ5千人（1.2%）の減少となりました。

当期旅客収入は「バス一日券」の価格適正化の効果により10,992百万円となり、前年度同期に比べ219百万円（2.0%）の増加となりました。

また、お客様サービス向上と増客・増収のため、以下の事業を実施しました。

- 地下鉄・市バスのネットワークを活かしたモデルコースの発信など、「地下鉄・バス一日券」の販売促進の実施
- ゴールデンウィーク期間中における市バスの臨時増発と案内サービスの実施
- 民間バス事業者や嵐電と連携し、夏休みに公共交通機関を利用して御家族でクールスポットや京都散策をお楽しみいただけるよう、保護者1人につき、小学生2人までの小児運賃が無料となる「eco(エコ)サマー」を実施
- 市バス開業90周年記念グッズ「トミカ」の発売
- 祇園祭期間中における市バスの臨時増発と案内サービスの実施

30年度4～9月 一日平均旅客数(バス)

(単位:千人)

	29年度	30年度	対前年度増減率
4月	401	391	-2.5%
5月	368	374	1.7%
6月	370	362	-2.2%
7月	355	351	-1.0%
8月	358	352	-1.7%
9月	367	362	-1.6%
4～9月累計	370	365	-1.2%

(参考) 運輸成績

〔平成30年 4月1日から
平成30年9月30日まで〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	316.93	314.23	2.70	0.9%
在籍車両数 (両)	818	808	10	1.2%
使用車両数 (両)	135,560 (741)	133,831 (731)	1,729 (10)	1.3% (1.4%)
走行キロ数 (km)	16,060,885 (87,764)	16,037,931 (87,639)	22,954 (125)	0.1% (0.1%)
旅客数 (人)	66,800,943 (365,032)	67,633,414 (369,581)	△ 832,471 (△ 4,549)	△ 1.2% (△ 1.2%)
旅客収入 (千円)	10,992,276 (60,067)	10,773,099 (58,869)	219,177 (1,198)	2.0% (2.0%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成30年 4月1日から
平成30年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	9,081,975	自動車運送事業収益	11,615,373
営業費用	9,063,922	営業収益	11,523,394
保 存 費	769,953	運 送 収 益	10,868,722
運 転 費	3,773,739	そ の 他	654,672
管 理 費	3,678,407	営業外収益	91,979
減 価 償 却 費	841,823	他 会 計 負 担 金	11,216
営業外費用	18,053	府 補 助 金	9,791
支 払 利 息	15,292	長 期 前 受 金 戻 入	66,115
雑 支 出	2,761	そ の 他	4,857
当期純利益	2,533,398		
合 計	11,615,373	合 計	11,615,373

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成30年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	23,590,012	固 定 負 債	6,359,782
有形固定資産	22,299,110	企 業 債	3,014,798
無形固定資産	53,922	引 当 金	3,344,984
建設仮勘定	35,980	流 動 負 債	2,551,410
投資その他の資産	1,201,000	企 業 債	671,254
流 動 資 産	7,898,925	未 払 金	1,073,153
現 金 預 金	160,998	預 り 金	185,970
未 収 金	1,223,578	前 受 金	570,845
貯 蔵 品	50,403	仮 受 金	50,188
貸 付 金	6,000,000	繰 延 収 益	1,951,121
仮 払 金	343,946	長 期 前 受 金	1,951,121
その他流動資産	120,000	資 本 金	8,827,690
		資 本 金	8,827,690
		剰 余 金	11,798,934
		資 本 剰 余 金	753,577
		利 益 剰 余 金	11,045,357
合 計	31,488,937	合 計	31,488,937

備 考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、301億4156万円です。

2 長期前受金収益化累計額は、63億9,371万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	4,356,183	0	670,131	3,686,052
合 計	4,356,183	0	670,131	3,686,052

平成30年度前期京都市水道事業業務状況

1 事業の概況

当期有収水量は、前年度同期に比べ107万立方メートル（1.3パーセント）減少し、8,276万立方メートルとなりました。

当期給水収益は、前年度同期に比べ2億2,132万円（1.4パーセント）減少し、148億7,920万円となりました。

また、当期総収益は、172億3,615万円となり、一方、当期総費用は、135億9,739万円となりました。

建設改良事業は、水道整備事業として、新山科浄水場導水トンネル築造工事、蹴上浄水場CRT監視制御装置更新工事、松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池改良工事、新山科浄水場高区4号配水池耐震化工事・高区送水ポンプ設備更新工事等を施工し、幹線配水管布設及び布設替え（延長3.2キロメートル）、支線配水管布設及び布設替え（延長20.3キロメートル）、補助配水管布設及び布設替え（延長12.7キロメートル）等を施工しました。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成30年4月1日から同年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水道事業費用	13,597,393	水道事業収益	17,236,148
営業費用	12,394,414	営業収益	15,996,919
原水費	277,461	給水収益	14,879,199
浄水費	1,679,566	他会計負担金	36,771
配水及び給水費	1,956,348	その他営業収益	1,080,949
業務費	1,363,804		
総係費	682,138	営業外収益	1,239,229
減価償却費	6,398,863	受取利息	605
資産減耗費	36,234	長期前受金戻入益	1,093,274
営業外費用	1,202,979	雑収益	145,350
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,192,891		
雑支出	10,088		
当期純利益	3,638,755		
合 計	17,236,148	合 計	17,236,148

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成30年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	314,115,616	固 定 負 債	161,502,753
有形固定資産	310,589,376	企 業 債	155,235,247
無形固定資産	1,559,278	リ ー ス 債 務	227,643
投資その他の資産	1,966,962	引 当 金	6,039,863
流 動 資 産	15,699,716	流 動 負 債	13,109,296
現 金 預 金	10,244,473	企 業 債	6,889,017
未 収 金	2,977,836	企業債償還積立金	3,695,785
貯 蔵 品	453,216	リ ー ス 債 務	114,298
保管有価証券	200,000	未 払 金	110,220
仮 払 金	5,733	前 受 金	475,760
前 払 金	1,813,247	預 り 金	1,624,216
その他流動資産	5,211	預 り 有 価 証 券	200,000
		繰 延 収 益	42,142,467
		長 期 前 受 金	42,142,467
		資 本 金	98,032,251
		剰 余 金	15,028,565
		資 本 剰 余 金	2,756,838
		利 益 剰 余 金	12,271,727
合 計	329,815,332	合 計	329,815,332

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,438億1,080万円です。

備考 2 長期前受金収益化累計額は、478億3,056万円です。

備考 3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成30年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	169,337,086	357,000	3,874,037	165,820,049
合 計	169,337,086	357,000	3,874,037	165,820,049

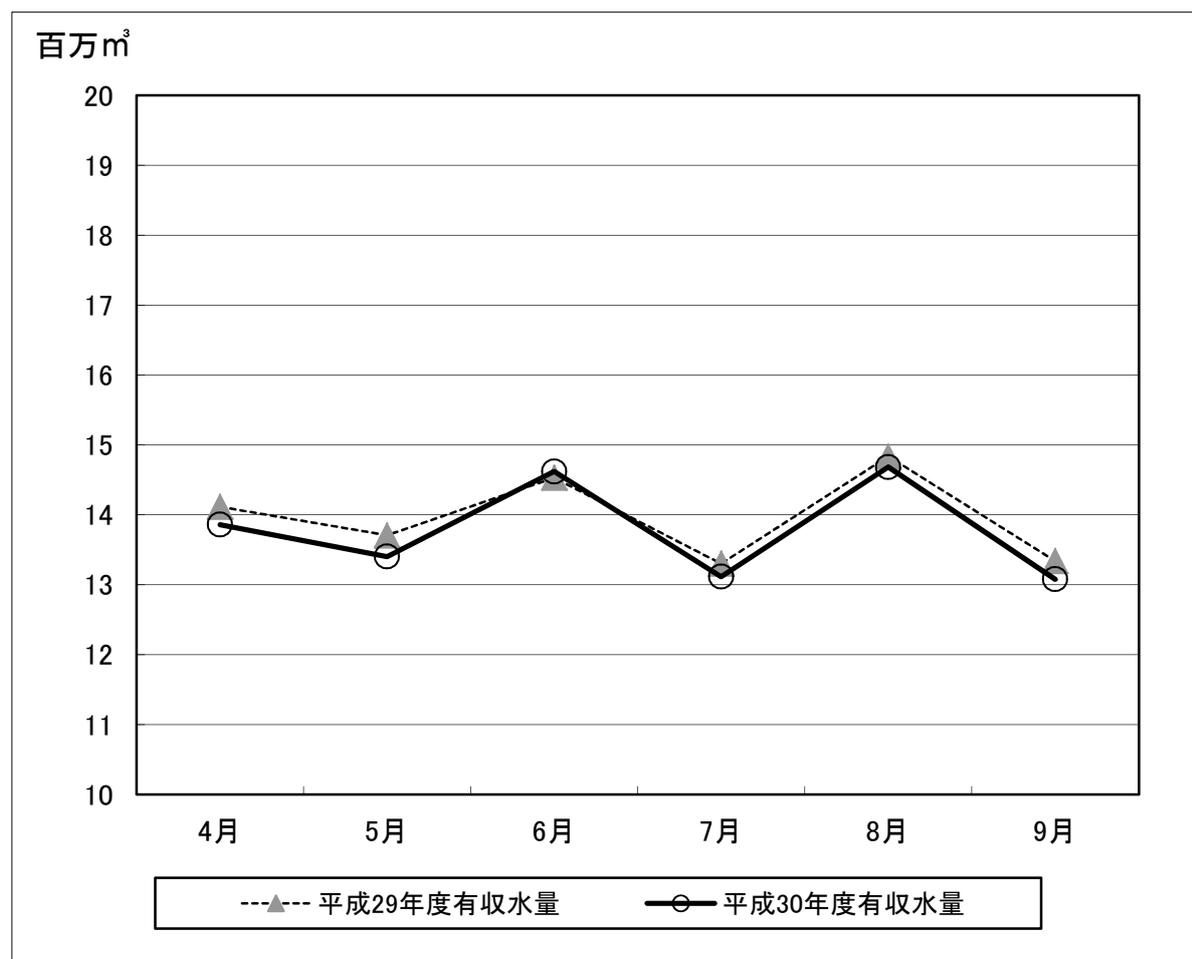
(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量

当期における有収水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収水量
平成	m ³
30年 4月	13,860,378
〃 5月	13,403,809
〃 6月	14,619,977
〃 7月	13,115,434
〃 8月	14,682,807
〃 9月	13,078,630
合計	82,761,035
1日平均	452,246
前年同期1日平均	458,076



平成30年度前期京都市公共下水道事業業務状況

1 事業の概況

当期有収汚水量は、前年度同期に比べ118万立方メートル（1.3パーセント）減少し、8,996万立方メートルとなりました。

当期下水道使用料は、前年度同期に比べ1億7,704万円（1.5パーセント）減少し、118億5,794万円となりました。

また、当期総収益は、259億2,780万円となり、一方、当期総費用は、230億5,411万円となりました。

建設改良事業について、管きよでは、新川6号幹線、伏見第3導水きよ、花見小路幹線、山科川13-1号幹線等を前年度に引き続き施工しています。

また、終末処理場では、鳥羽水環境保全センターで汚泥濃縮・消化タンク整備工事や自家発電設備改築更新工事等、伏見水環境保全センターで合流系最初沈殿池整備工事等を前年度に引き続き施工しています。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成30年4月1日から同年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公共下水道事業費用	23,054,106	公共下水道事業収益	25,927,799
事業費用	20,817,613	事業収益	21,936,347
下水道維持費	1,486,604	下水道使用料	11,857,943
下水処理費	4,396,195	他会計負担金	9,818,016
業務費	715,366	その他事業収益	260,388
水洗便所普及 対策費	109,939	事業外収益	3,991,452
総係費	409,945	受取利息	1,023
減価償却費	13,470,286	他会計負担金	68,604
資産減耗費	229,278	長期前受金 戻入金	3,890,850
事業外費用	2,236,493	雑収益	30,975
支払利息及び 企業債取扱諸費	2,226,581		
雑支出	9,912		
当期純利益	2,873,693		
合 計	25,927,799	合 計	25,927,799

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成30年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	688,543,098	固 定 負 債	271,497,814
有形固定資産	682,449,020	企 業 債	264,138,581
無形固定資産	5,662,547	企 業 債 償 還 金	4,091,856
投 資 資 産	431,531	積 立 金	
その他の資産		リ ー ス 債 務	97,846
流 動 資 産	20,869,886	引 当 金	3,169,531
現 金 預 金	15,559,098	流 動 負 債	32,889,309
未 収 金	2,545,414	企 業 債	23,601,290
貯 蔵 品	10,565	企 業 債 償 還 金	8,498,315
保管有価証券	195,000	積 立 金	
仮 払 金	3,788	リ ー ス 債 務	35,537
前 払 金	2,555,213	未 払 金	2,474
その他流動資産	808	前 受 金	472,144
		預 り 金	84,549
		預り有価証券	195,000
		繰 延 収 益	163,123,712
		長期前受金	163,123,712
		資 本 金	222,378,246
		剰 余 金	19,523,903
		資本剰余金	8,340,071
		利益剰余金	11,183,832
合 計	709,412,984	合 計	709,412,984

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、6,852億1,863万円です。

2 長期前受金の収益化累計額は、2,000億2,886万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成30年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	285,161,721	287,000	7,607,462	277,841,259
資本費債 平準化債	22,532,151	0	43,368	22,488,783
合 計	307,693,872	287,000	7,650,830	300,330,042

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収汚水量
平成	m ³
30年 4月	14,977,256
〃 5月	14,722,110
〃 6月	15,728,309
〃 7月	14,492,187
〃 8月	15,811,899
〃 9月	14,231,572
合計	89,963,333
1日平均	491,603
前年同期1日平均	498,032

